

令和 6 年度第 1 回社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議録

日 時：令和 6 年 11 月 14 日（木）19 時 00 分～20 時 00 分

場 所：やわらぎ会館 3 階 小会議室 1

出席者：19 名（委員 14 名＋事務局 5 名）

議長挨拶

教育長挨拶

新委員紹介

案件

1. 令和 6 年度前期の社会教育及び公民館事業の報告について

議長 上半期の委員の活動実績として研究大会等に参加していただいた。参加した委員の方から感想などご発言いただきたい。

委員 9 月に京都府で開催された近畿地区社会教育研究大会に参加したが、伝統行事を復活させる話であった。一度途絶えてしまうと復活させるのは大変である。王寺町にも色々な行事が続いているが、一度途絶えさせてしまうと次に復活させるのには大変なエネルギーがいるので、今ある行事は大事に活動していかないといけない。

議長 祇園祭の鷹山という地区の話であったが、復活させるにあたって地域の人の繋がりだけでなく、他の地域から来た人もこのような良いものがあるのであれば復活させなければならないということで一緒にやっていた。王寺町でも若い方が移住してきた際に、王寺町でこんな素晴らしいことをやっているのであれば一緒にやっっていこうかなという気持ちにさせていくことが、すごく大事だと感じた。

茨城県で開催された全国社会教育研究大会では、王寺町の委員が全国社会教育委員連合表彰を受賞した。社会教育委員歴が長いことに加えて、副議長の経験があることも評価の 1 つであるが、それ以外に地域でどれだけ人との関わりを持っているのかということが評価されている。特に様々な活動で、若い人からお年寄りまで対象に活動されていることが評価された。これからも社会教育委員としてご尽力いただきたい。

委員 10 月に開催された全国社会教育研究大会で表彰していただいた。長年携わってきて、その間色々な研究発表を聞いてきた。それぞれの地域や立場によって事情は違うが、課題は1つだと感じている。それは、社会教育委員の役割って何だろう、何ができるのだろうかということである。社会教育委員として、地域との交わりや行政との関わりをどのようにしていったらいいのかという研究発表を多く聞かせていただいた。是非とも皆様も機会があれば研究大会に参加して聞いていただきたい。

議長 全国社会教育研究大会には、行政の方に予算を確保していただき参加させていただいている。全国には頑張っておられる方々もいて刺激になるうえに、参考になる部分もある。普段、他自治体がどのようなことをしているか知る機会がなく、比較することができてすごくいい刺激になる。

委員 10 月に奈良県で開催された全国公民館研究集会に参加させていただいた。参加している方は公民館関係者も多くおられた。行政の方も参加すると良いのではないか。また、情報発信が大きなテーマであり、王寺町も多くの情報を発信していくことが大切だと感じた。

議長 公民館運営は業務委託しているところも多く、新しいアイデアはないかなどの情報収集のために参加される方も多くいるのではないか。私達は公民館運営審議会委員であり、利用する立場としての意見も述べることもできる。

委員 王寺町の公民館はどのようなものがあるのか。

議長 文化福祉センターやいずみスクエアがある。社会教育施設ということであれば、やわらぎ会館やリーバー王寺などもある。
他の事例を聞くと、その地域での繋がりというものをすごく大事に活動されている。こんなふうにしたら喜んでもらえるとか、高齢者の方と子どもたちを繋ぐにはどうしたらいいのかなど、勉強になることは多い。

委員 全国公民館研究集会に参加させていただいたが、分科会では公民館での防災教育というのがテーマであった。ドローンを活用して防災教育をするなど、画期的な案もあり、防災士ネットワークでの研修などに取り入れてみたいと思っている。

近畿地区社会教育研究大会の方にも参加させていただき、196年ぶりの伝統行事の復活であったが、王寺町でも太鼓の叩き手が減少しているなどの実情がある。昔から住んでいる方だけではなく、新しく王寺町に来た方も含めて、王寺町としての祭りを維持していきたいと実感した。

議長 子どもが少なくなってきているので、子どもが喜ぶイベントを考えていかなければならない。研究大会は毎年開催されるので、是非とも皆様には参加していただいて、色々な刺激をもらっていただきたい。そして、王寺町に戻ってきて自分ができることは何かということを考えていただければと思う。

事務局より令和6年度前期の事業報告

議長 事業報告に対して、委員から質問や意見はないか。

委員 スポーツフェスティバルについて、新しい形でのイベントとなったが、800人程の参加があり、大変よかったと感じている。この日は暑かったので、最初はクーラーの入っている体育館に人が集中した。アナウンス等を行うことで、屋外にも人が増えていったが、熱中症対策を検討する必要があるのではないか。

委員 子どもが多くて、大人は少なかったということはないか。

委員 子どもと両親、子どもと祖父母の組み合わせ等もあり、子どもも大人も多く来られていた。今後は目立つイベントを検討するなど、更に多くの来場者を見込むイベントにしてはどうか。

委員 会場は毎年同じ場所になるのか。

委員 王寺南義務教育学校と王寺北義務教育学校を隔年で実施するなど、色々な地域の方が参加しやすいような工夫をしていくことが必要ではないか。

委員 来場者に感想を聞くと、ターゲットバードゴルフなど普段したことがない種目などができ楽しかったという子どもがいたり、良い試みだったと感じた。

委員 毎年同じ内容で実施するのではなく、毎年種目を変更したり、場所を隔年で変更したりと、変化させていくのがいいのではないか。

委員 文化祭について、いずみスクエアで実施したが、舞台発表の会場の椅子側に段差がなくて見えづらいという声を聞いた。場所の変更も含めて実施方法を検討していく必要があるのではないか。

教育長 階段状の固定席がない会場ではあったが、展示と舞台を同じ施設にしたことで、展示を見られた方がそのまま舞台を見られるなど導線は良かったのではないか。舞台だけを考慮すると、やわらぎ会館や文化福祉センターなどもあるが、駐車場が狭いといった問題や会場が分散する問題もある。

委員 舞台での発表者は衣装等も準備をしているので、見てもらいたいという気持ちがある。文化祭としての会場は変更できないとしても、椅子側に段差を設けたり、舞台側を少し高くするなど、より見やすくなるよう工夫していただきたい。

委員 同一会場であるメリットは大きいと感じた。展示を出している方が、休憩中に他の展示や舞台を見たりできるのはとてもよいとの声を聞いた。

議長 展示部分も場所が狭かったり、体育館は多少暗かったりという声もあったが、文化祭は色々な活動の内容を一緒に披露する場であり、満足できなかった部分もあるかもしれないが、様々な活動を見て興味をもってもらうことに意味があるのではないか。まずは知っていただいて、それぞれがまた別の場所で発表の場を持たれることをしていけばいいのではと思う。舞台が見えにくいという声は私も聞いているので、工夫できるところは工夫していければと思う。
悪天候の予報があるなかの開催となったが、事務局の方々には様々な対応をしていただき、非常に感謝している。

2. その他

特になし

副議長挨拶

以上